

スマイル ニュース

SMILE NEWS

194

男女共同参画推進委員会

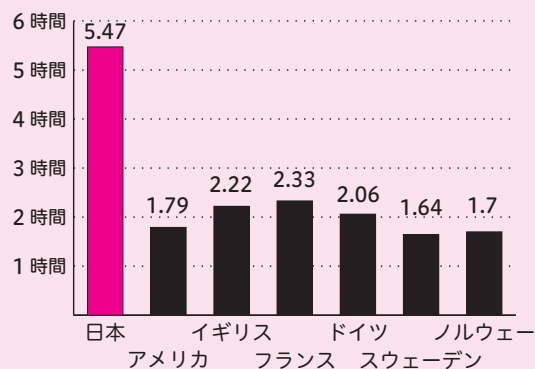
働き方を考える

下のグラフ「乳幼児のいる家庭の家事・育児関連時間の男女比の国際比較」は、内閣府男女共同参画局が出している「平成 30 年版男女共同参画白書（概要版）」内のデータを基に、6 歳未満の乳幼児がいる家庭で、夫の家事・育児関連時間を 1 とした場合の妻の比率を表したものです。他の先進国との違いがはっきりと分かります。

もちろん、男女平等に関する考え方の違いもあるでしょうが、その根底には働き方の問題が横たわっています。OECD（経済協力開発機構）が 2020 年に発表した資料では、日本の男性の 1 日当たりの有償労働時間は、7 時間 32 分です。OECD 全体の平均 5 時間 17 分と比べて、2 時間以上も長くなっています。日本の男性は家事をこなさすぎるのではなく、仕事をしすぎた結果、家事や育児のできる時間が少なくなっているのではないのでしょうか。

また、日本女性の有償労働時間も OECD 平均（3 時間 38 分）を 1 時間近く上回る 4 時間 32 分となっています。仕事でも家事でも女性に係る負担は重いものです。

これからは、男性も女性も働き方を考える時代ではないのでしょうか。



乳幼児のいる家庭の家事・育児関連時間の男女比の国際比較

【問い合わせ】市男女共同参画推進委員会
（総務課総務担当内） ☎ 62-3117